

2018年2月吉日

実践経営学会中国四国支部会2月17日(土)研究報告会
に代えて、2月24日(土)広島本通り商店街・広島原爆
資料館・広島護国神社、見学会を開催します

実践経営学会会員各位

立春の候 先生方には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、中国・四国支部会では、2017年度第1回研究報告会を来る2月17日(土)を予定し募集しておりましたが、趙ご多忙な時期と重なり、報告者の都合がつきません。

従いまして、2017年度第1回中国・四国支部会では、2月24日(土)に、全国の会員の皆様に広島を知っていただくための第1歩として、広島市内にあり観光名所でもある、広島本通り商店街・広島原爆資料館・広島護国神社の見学会を企画させていただきました。ご参加頂ける方は、2月15日(木)までに、小原まで①2月24日見学希望、②氏名、③所属、を明記の上、下記のメールアドレスにてお送り頂きたいお願い申し上げます。

小原メールアドレス：obara@pu-hiroshima.ac.jp

諸準備の都合等もあり、必ずメールにてご連絡の上、ご参加頂きたいお願い申し上げます。

<追伸>

2017年度第2回中国・四国支部会は、研究報告会を募集しておりますが、少なくとも2名以上の研究報告者がいらっしゃらないと開催が難しいところです。3月に発表可能な方は、3月3日以外で可能な、ご希望の日時等を上記メールアドレスにお送り頂きたいお願い申し上げます。その後、日程調整し是非、実施させて頂きたいと思っております。

今後とも、実践経営学会中国・四国支部会をよろしくお願い申し上げます。

実践経営学会理事

中国・四国支部長 小原 久美子

実践経営学会中国・四国支部会見学会 2018年2月24日(土)

Pm 1 : 00 ~ 広島本通り商店街視察

2 : 30 ~ 3 : 30 広島原爆資料館見学

3 : 45 ~ 4 : 30 広島護国神社参拝

その後、研究情報交換会開催(広島駅ビル内)を開催(参加希望者のみ)

集合場所: PM 1 : 00 広電「本通り」電停前 (広島駅から路面電車で約15分)

www.hiroden.co.jp/train/route-guide/stop-guide/u-1.html

- 広島電鉄「紙屋町西電停」「紙屋町東電停」「本通電停」
1号線(広島駅~広島港)、2号線(広島駅~広電宮島口)、3号線(広電西広島~広島港)、6号線(広島駅~江波)、7号線(横川駅~広電本社前)
- バス「紙屋町」「広島バスセンター」
広島バス、広電バス、広島交通、JRバスなど
- アストラムライン「県庁前駅」「本通駅」



本通り商店街

<http://www.hondori.or.jp/history.html>

<p>路面に埋め込まれた これは…!?</p>  <p>江戸時代から山陽道のメインルートとして栄えた本通。現在は「本通」と住所も統一されていますが、かつては東から「平田屋町」「播磨屋町」「革屋町」「横町」「細工町」という町名がありました。最近では城下町の名残は忘れられつつありますが、本通を歩くと、路面に旧町名が書かれた銘板を見つけることができます。</p>	<h3>本通会の歴史</h3> <p>昭和5年(1930年) 平田屋町・播磨屋町・革屋町の3町で構成する「三栄会」と、横町・細工町で構成する「共盛会」が合併し『本通会』結成</p> <p>昭和21年(1946年) 「広島本通商店街復興発起人会」(革分会)発足</p>
<p>創業明治6年 下村時計店</p> <p>大正3年に現在の場所に移転し、昭和初期には時計台のある英国風の店舗を建造。当時、時計は社会的地位の高い人しか持てなかった高級品。庶民にはあこがれの店でした。</p> <p>昭和5年ごろ▶</p> 	<p>昭和23年(1948年) 中小企業協同組合法による「広島本通商業協同組合」設立、初代理事長に中山良一就任</p> <p>昭和25年(1950年) 「広島本通商業協同組合」法人成立の登記</p> <p>昭和29年(1954年) 本通に初代アーケード完成、祝賀式挙行</p>
 <p>▲明治26年ごろ</p> <p>3人の美人(別嬪・ベっぴん)の看板が印象的。美人に欠かせない化粧品や貴金属、和装小物などを扱い、杜氏としては珍しい、映画女優愛用の化粧品なども置いていたそうです。</p> <p>創業明治26年 別嬪店</p>	<p>昭和30年(1955年) 初代アーケード、16cmの積雪被害で倒壊</p> <p>昭和40年(1965年) 「本通」が行政区画の正式町名となる</p> <p>昭和57年(1982年) 広島本通商店街振興組合とデンマークの首都コペンハーゲンにある「ストロイエ商店街」と姉妹縁組締結</p>



▲昭和40年ごろ

昭和22年に現在地へ移転。最新の検眼機器を備え、中国地方各地からも訪れる人が後を絶たなかったとか。昭和30年代から各地に出店を始め、全国規模へと成長した「タナカ」の総本店です。

創業大正2年
田中眼鏡店

平成12年(2000年)
西国街道プレートを路面に設置

平成20年(2008年)
組合創立60周年を迎える

平和の願いを伝え続ける



原爆直後の帝国銀行
(現アンデルセン)



▲昭和40年

大正14年に旧三井銀行広島支店として建てられたルネサンス様式の建物。原爆で大破したものの修復され、代表的な被爆建物になっています。昭和42年にタカキペーカリー創業者が「アンデルセン」をオープン。

広島護国神社

<https://www.h-gokoku.or.jp/>



東方上空から望む広島護国神社



▲赤松薬局



原爆で傷ついた石もそのまま残されており、厳かな空気を感ずる中庭。

この地で約400年もの歴史を持つ「赤松薬局」。被爆直後、一面の焼け野原になった本通で、「赤松薬局」の敷地の目印になったのが、今も店舗裏に残る庭石。平和学習のために、修学旅行生が当時の話を聞きに訪れます。